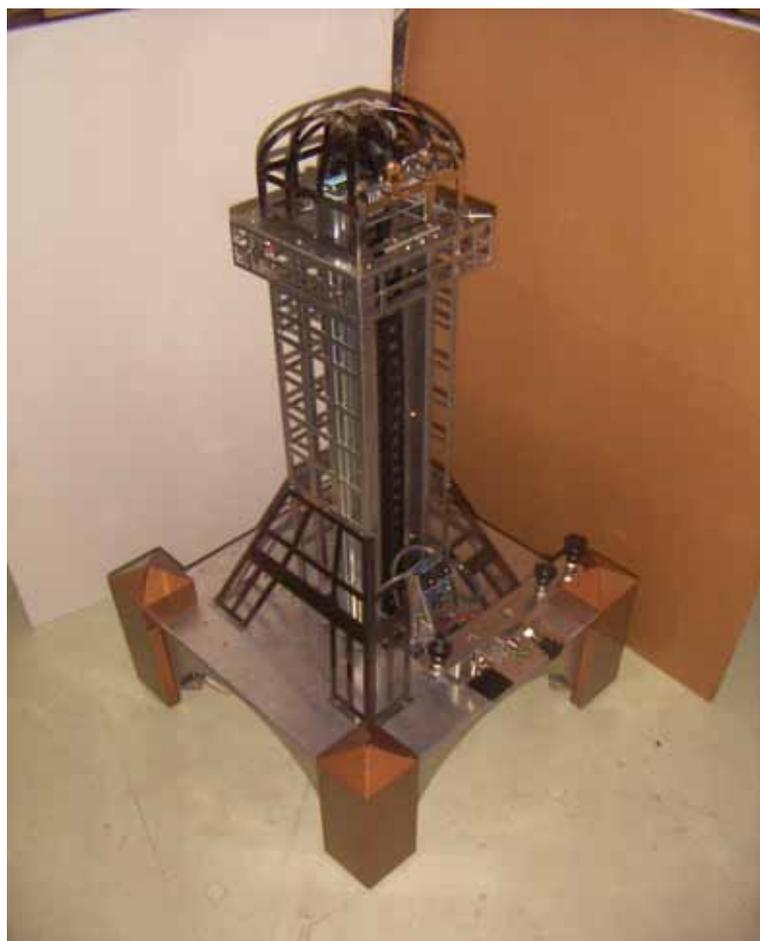


八尾ロボットフェア 2013

第5回八尾ロボットコンテスト 2013.2.9アリオ八尾

ロボット&チーム名	参加者 名簿
若ごぼう	チーム代表者 鈴木 謙三
	チーム監督者 延原 高志
	参加者: 鈴木 謙三、瀬尾 和成、塚本 勝孝、延原 高志、高松 隆、高松 成 福田 吉宏、林 晴彦、大島 逸平、水谷 陽亮、中原 祥幸 小柴 孝文、上村 富成、谷口 実、野村 秀夫



ロボット製作費	176,000円
ロボットの大きさ	550x550x995H
ロボットの重量	約17kg

特 徴

競技テーマの通天閣100周年にちなんで、ロボットは初代通天閣をモチーフにしました。最上部にはピリケンさんが鎮座し、飾り付けてルナパークの雰囲気を出します。

ベース台車は大きなアーチで軽量に仕上がっていますが、大人が乗っても十分な強度があります。

タイヤにはオムニホイールを使い、前後左右と斜めの8方向移動ができ、小回りも効きます。

エレベーターシャフトには、台形ねじを使い、フォークリフトと同じ構造でオブジェを吸着するアームが1.5mまで上下します。

製作時のエピソード (苦労話・話題など)

- 1) ロボット設計の前に、通天閣展望台内にある初代通天閣ジオラマを見に行ったのですが、週末の昼間の大混雑に圧倒され、人混みの中で撮影した写真から設計図を起こしました。
- 2) 見た目を重視したので、できるだけメカや電気部品を隠すのが大変でした。
- 3) 自作ギヤボックスのシャフト交換やネジ増し締めなどのメンテナンス性をUPするために、追加工しました。
- 4) パフォーマンスは、誰もがよく知っている"あの歌"を1曲演奏し、お祝いのくす玉を開きます。
- 5) 当初予定より高さが足りずに、大会直前に吸盤の増設で対応しました。